

教科名 (科目名)	理科 化学	履修学年	2 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方はたらかせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	・化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	・化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	○定期考査・単元テスト	○定期考査・単元テスト	○レポート・課題 ○授業での発表・取組の姿勢

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】	化学Vol.1理論編 (東京書籍)
【副教材】	セミナー化学基礎+化学 (第一学習社) 新訂版リピートノート③ (浜島書店)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書の内容を、授業プリントを用いて進めます。できれば教科書を読み簡単に予習をします。さらに、授業中の演習や問題集を用いて演習をしていきます。授業中に大事なところをさらに調べたりすると理解が深まります。
○生徒実験を実施します。教科書の内容を実際に確認したり、実際に器具を操作することで理解が深まります。また実験報告の基本的な書き方を学習します。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度		
1 学 期	4月	※1学期は化学基礎を学習する					
	5月						
	6月						
	7月						
2 学 期	8月	※2学期中間考査までは化学基礎			レポート・課題		
	9月				授業での発表		
	10月				授業での取組の 姿勢		
	11月				1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質 3章 溶液の性質 4章 固体の構造	単元テスト 単元テスト 単元テスト 期末テスト	単元テスト 単元テスト 単元テスト 期末テスト
	12月				2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光		
3 学 期	1月	2章 電池と電気分解	単元テスト	単元テスト	レポート		
	2月	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡	単元テスト 学年末テスト	単元テスト 学年末テスト	授業での発表 授業での取組の 姿勢		
	3月						